



ジオパークは、地球の活動がつくりだす大地、そこで育まれる生きものや恵み、それらを人々が活用し築きあげる文化を、**観て、遊んで、味わい**、地球と私たちの暮らしの「つながり」を知り、地球とより良く暮らすことを考えるきっかけとなる場所です。

阿蘇ユネスコジオパークの **HOT** な話題をお届け。

カルデラ暮らし

ASO UNESCO GLOBAL GEOPARK ASO UNESCO GLOBAL GEOPARK ASO UNESCO GLOBAL GEOPARK ASO UNESCO GLOBAL GEOPARK

ユネスコ世界ジオパークの再認定審査が行われます！

8月6日(月)～9日(木)にかけて「ユネスコ世界ジオパーク再認定審査」が行われます。昨年8月には日本ジオパークネットワークの再認定審査が行われました。今回は、ユネスコ世界ジオパークの再認定審査を機会に、なぜ再認定審査が必要なのか・どのような審査が行われるのかを改めてご紹介します。

なぜ再認定審査が行われるの？

阿蘇地域は、日本ジオパーク(2009年)、ユネスコ世界ジオパーク(2014年)の加盟認定を受けました。世界ジオパークというプログラムは、4年に一度再認定審査を受ける必要があります。これは、阿蘇ユネスコ世界ジオパークが、認定後もジオパークの活動を通して、持続可能な地域社会の実現のために、住民、研究者、官民が一体となって地域の遺産を未来につなぐ活動ができてきているのかを確認するものです。

阿蘇地域は、2014年にユネスコ世界ジオパークの認定を受けたので、4年後の今年、再認定審査を受けることになります。



2014年世界審査の様子



ユネスコ世界ジオパーク認定の瞬間

どのようなことを審査するの？

昨年の日本ジオパークの再認定審査では、ジオパーク活動を通しての地域の教育・保全・観光など、様々な分野において活発的な取組みを継続的に行っていることや、阿蘇中岳の噴火等の災害に対して、行政や研究機関が協力して適切な情報発信ができる体制が整っていることに対し、高い評価を受けました。

一方で、事務局や運営体制の弱体化・各地域間の連携や情報共有が不足しているなどの課題も挙げられました。今回は、ユネスコ世界ジオパークとしての全体的な運営をはじめ、評価された活動が継続して行われているのか、課題の改善がなされているのかが審査されます。

皆さんに知ってほしいこと

阿蘇地域に住む私たちは、2012年の豪雨災害、2016年の熊本地震・中岳噴火など、度重なる天災を経験してきました。阿蘇ユネスコ世界ジオパークは、自然の驚異を理解し、自然の恵みを楽しむことへの感謝と、その受難を乗り越えるための強さを、共通の知恵として未来に残していくことが使命だと考えています。私たちが経験した事を記録し、再び立ち直す姿を発信していくことは、災害を経験した事のない人たちにとって貴重な知識となります。

再認定審査を受け、ジオパーク活動を続けていくことは、次世代にとっての道標にもなるのです。ジオパークの住民として私たちができることは何か考えるきっかけになればと思います。そして自分たちの地域の魅力を知り、知識を伝えていくことはジオパークとしてとても大切なことなのです。



阿蘇ジオパーク推進協議会

〒869-2232 熊本県阿蘇市赤水1930番地1 阿蘇火山博物館内

TEL: 0967-34-2089 FAX: 0967-34-2090

公式ウェブサイト: <http://www.aso-geopark.jp/> フェイスブック: <https://www.facebook.com/AsoGeopark/>

家族や身近な人との関係を見つめ直し、
人権や差別について話し合う機会を持ちましょう。

人権作文

神楽のこと

波野小学校六年 入田大翔 （にゅうたたいと）

ぼくの学校には神楽部があります。今、神楽部は十六人で活動しています。ぼくは神楽部に三年生の時から入っています。神楽はとても楽しいです。教えてくださる人は三人います。一人は神楽部の会長さんで毎週水曜日に学校に来てくれます。とてもやさしい人です。

今年の神楽フェスティバルに向けて、二学期からまた練習が始まりました。だけど、なかなか時間がなくて練習がうまくいきませんでした。毎年、神楽フェスティバルでは、「八雲払い」という演目を舞います。ぼくはその中でもとても重要な役割の「ミコト」を舞うことになりました。とても難しい役で最初はぼくもみんながしないのでやってみようという気持ちでした。

練習を続けてもなかなか舞いを覚えるのが難しかったので、担当の中村先生から、「去年のビデオを見て覚えましょう。」

と言われました。それから昼休みに何回もビデオを見て覚えるようにしました。

お母さんには、「ミコトをやめるよ。」

と伝えると、

「すごいね。」

と言ってもらいました。中学校の先ばいに、ミコトを舞った人がいますが、その人からは、「がんばれよ。」

と声をかけてもらいました。でも練習してもなかなか覚えられなかったので自分の中で（大丈夫かな）という気持ちが大きくなりました。

昼休みの練習を続けていき、少しずつ舞えるようになってきました。不安な気持ちはなくなりませんでした。

いよいよ本番の日が来ました。その日は土曜授業の日で神楽部以外の人もたくさん見学に来ていました。そして全国からたくさんの方々が集まってきました。フェスティバルの最初の出番だったので、衣装を着替えるのが間に合うかどうか心配でした。マイクを付けたら、お面をつけたらしている、出番が近づきどんどん緊張してきました。でも（間違ってもいいから大きく舞おう）と自分に言い聞かせました。少し緊張はしたけど思いつき舞うことが出来ました。舞っている途中はあまり覚えていないけど、練習した分、堂々とできました。

演目が終わると、先生が、

「よかったよ。」

と言いました。帰ったらお母さんも見に来ていて、「上手だったよ。」と言いました。

波野中学校にも神楽部があるので、中学校でも続けていきたいです。そして、あと少しの小学校生活でも、後はいちたにたくさんの方々に伝えていきたいです。

先生からのコメント

大翔さんは、勉強にスポーツにいつもまじめに取り組んでいます。二学期が始まって、少し心配そうな表情を浮かべることがありました。それは、神楽フェスティバルが近づいているからです。昼休みも時間を惜しんで練習していました。当日はそれまでの心配がうそのように堂々とした舞でした。本番直後に「がんばったね。」と声をかけた時のほっとした表情の大翔さんがとても印象的でした。

人権作文

平成29年度 阿蘇市人権作文集「かけはし」より ※学年は平成29年度時点。



お笑い大衆演劇
いろは座

オリジナル時代劇芝居と舞踊ショーの和のエンターテインメント

開催日時／2018年9月12日 13:00から
会場／当宿2階お休み処 （お食事11:30から）

料金／宿泊の方 1,500円（観劇料のみ）
※別途、宿泊料金が必要です。

日帰りの方 3,300円
（観劇料・食事代・入浴料込み）



だれでもお泊まれる。かんぽの宿 阿蘇五岳を一望。大自然を満喫する温泉リゾートホテル

かんぽの宿阿蘇

〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地5936
TEL0967-22-1122
FAX0967-22-3586

かんぽの宿 検索 CM動画公開中

2018年9月、日本観光協会観光大使の阿蘇観光大使

※温泉設備故障のため、2018年5月18日から当宿の湯、真湯での営業となります。現在のところ復旧の日が立っていませんので、お手数ですがお問い合わせください。

泉質 ナトリウム・カルシウム-炭酸水素塩・硫酸塩泉（低張性中性高温泉）

適応症 動脈硬化症、きりきず、やけど、慢性皮膚病など pH値 7.4

※本宿舎は地震後の復旧、一時的に営業に支障を加えることにも、ご理解し、ご高来賜うを注しています。一部設備は、真湯を使用しています。お客様が安心してご利用をお祈りします。※入浴票（タトゥー）をしているお客様は、他のお客様から入浴票（タトゥー）が見えない状態でのご利用をお願いいたします。※敷内への運搬は禁止ください。■掲載の写真・イラストはすべてイメージです。■掲載の料金すべて消費税が含まれています。